

インド・ケララ州

Kerala, India

インフラと人材を活かしてITビジネスの拡大へ



ケララの伝統舞踊「カタカリ」



S.ラムナート氏

ケララ州産業インフラ開発公社
ゼネラル・マネージャー(計画・ビジネス開発担当)

Mr. S. Ramnath

General Manager (Planning & Business Development)
KINFRA (Kerala Industrial Infrastructure Development Corporation)

ドリーという視点に立ち、インドで最初のITパークも整備。ソフトウェア産業や製造業でも環境への負荷が少ない分野を軸に企業誘致を進めています。

これまでにIT、バイオ、医療機器、食品加工、AV機器などの分野で多くの企業が成功を収めています。

またエネルギー分野でも、州内の電力需要の85%以上が、豊富な水脈を生かした18の水力発電所によってまかなわれています。

ケララ州では現在までに12の企業が日本との事業を展開しています。特に大容量回線と高水準の情報処理技術を生かし、アニメーションやゲーム、映画制作の分野で日本とのコラボレーションが近年盛んになりつつあります。

映像コンテンツビジネス分野でも経済特区が設けられています。KINFRA Film & Video Parkの経済特区では、輸出入関税が100%免除となっている他、人材確保のバックアップなど、さまざまな投資優遇策が施されています。

日本との更なる経済協力を期待

インドは既に世界的な映画大国であり、そこでの経験と最新の情報技術の融合で、日本の皆さんとコンテンツビジネスの新たな可能性を開拓できることは、大いに期待が膨らむところです。

もちろん、日本の皆さんとはこの分野に限らず、今後あらゆる面でパートナーシップを深めてゆけることを楽しみにしています。

映像コンテンツ産業に強み

インドが英語力に優れた国であることは広く知られています。ケララ州はそれに加え、多様な宗教や文化の垣根を超えて社会が発展してきたことから、欧米や日本の先端技術や産業文化の取り込みが大変スムーズでした。そのため情報通信の環境整備では、ITパークの整備以外でもエリア最大のコンテナ港であるコーチンにいち早く大容量ターミナルを設置し、ゲートウェイの機能を整えるなどしてきました。

豊富な資源と先端産業

インド南西部沿岸に位置するケララ州は、豊かな緑に覆われ、古くから海産物、ハーブ、スパイスなどで内外にその名を知られています。カシューナッツの生産量がインド国内生産の70%を誇る他、最近では海産物も高付加価値製品をEU諸国に供給しています。

一方、先端産業でも目覚ましい発展を遂げつつあります。

ケララ州はもともと開発可能な土地が限られているため、重工業の誘致には不向きです。そのため産業の育成ではエコフレンド



インド・ケララ州

州	都	トリヴァンドラム
面	積	3万8,863平方キロメートル
人	口	3,018万人
宗	教	ヒンドゥー教、イスラム教、カトリック教
通	貨	インドルピー
言	語	マラヤラム(ケララ州独自の言語)、英語
時	差	日本より3時間半遅れ

日本からの主な進出企業

新田ゼラチン、テルモ、三菱重工業、日清食品、他